

平成22年度 決算報告書

国立大学法人筑波技術大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	2,828	2,828	0	
施設整備費補助金	0	0	0	
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時 補助金	0	0	0	
補助金等収入	29	42	13	(注1)
国立大学財務・経営センタ ー施設費交付金	15	17	2	(注2)
自己収入	308	320	12	
授業料、入学料及び検定 料収入	163	152	△11	(注3)
附属病院収入	105	110	5	(注4)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	40	59	19	(注5)
産学連携等研究収入及び寄 附金収入等	106	27	△79	(注6)
引当金取崩	0	0	0	
長期借入金収入	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
目的積立金取崩	83	15	△68	(注7)
計	3,369	3,250	△119	
支出				
業務費	3,218	2,921	△297	(注8)
教育研究経費	3,115	2,749	△366	
診療経費	103	172	69	
施設整備費	15	17	2	(注9)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	29	41	12	(注10)
産学連携等研究経費及び寄 附金事業費等	106	25	△81	(注11)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	1	1	0	
国立大学財務・経営センタ ー施設費納付金	0	0	0	
計	3,369	3,005	△364	
収入-支出	0	245	245	

○予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が13百万円多額となっています。
- (注2) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、予算段階では予定していなかった交付金の獲得のため、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として授業料免除が増加したこと等により、予算額に比して決算額が11百万円少額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、主として患者数が増加したこと等により、予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として寄宿舎新棟の寄宿料収入が増加したこと等により、予算額に比して決算額が19百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、共同研究、受託事業及び寄附金の獲得が不調だったため、予算額に比して決算額が79百万円少額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、当初予定していた事業が執行できなかったため、予算額に比して決算額が68百万円少額となっています。
- (注8) 業務費のうち教育研究経費については、(注7)に示した理由や経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が366百万円少額となっています。また、診療経費については、予算段階では予定していなかった退職給付等により、予算額に比して決算額が69百万円多額となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が81百万円少額となっています。